

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

実施日：令和7年6月20日（金） 13:50～15:25

場 所：安来市立安田小学校

指導者：6年生担任1名

埋蔵文化財調査センター講師1名

安来市文化課講師1名

1. 弥生時代のくらしにふれてみよう

～伯太町の遺跡から見える人々のくらしと勾玉づくり～

2. 本時のねらい

- ・ 地元の遺跡や歴史について学習することを通して、ふるさとの歴史に対する興味や関心を高める。
- ・ 本物の土器に触れたり、勾玉づくりを体験したりすることで、古代の人々の生活の様子や技術などについて考えることができるようにする。

3. 展開

時間	学習内容	支援
13:50	1. 本時の流れを知る。 伯太町の遺跡の話の聞いたり勾玉を作ったりして、古代の人々のくらしを知ろう。	・ 見通しをもって学習できるように、学習のながれを説明する。(担任) ・ 講師による自己紹介
13:55	2. 地域の古代の文化について知り、古代人の生活について考える。 ・ 周辺地域の遺跡についての説明を聞く。 ・ 弥生時代のくらしについて説明を聞く。	・ 発掘された遺跡や土器からどのようなことが分かるか説明する。
14:20	3. 土器や石器に触れる。	・ 安来市や近郊で出土した土器などを提示する。
14:35	(休憩) ※理科室へ移動	
14:40	4. 勾玉づくり ・ 勾玉の歴史を知る。 ・ 作り方の説明を聞く。 ・ 勾玉づくり	・ 勾玉づくりの助言をする。
15:20	学習のまとめ ・ 感想発表 ・ 講師の先生のお話	

4. 準備物

- (1) 学校：大型提示装置、振り返り用紙、カメラ、長机2台、たらい4つ、新聞紙
- (2) 埋蔵文化調査センター：パワーポイントデータ、玉製作キット、配布資料、カメラ
- (3) 児童：筆記用具、作業用の軍手、汚れてもいい服